

第2回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員(16名)

内海 一嘉委員、太田 博久委員、木下 敏彦委員、小池 修次委員、小林 妙子委員、
薩摩 建委員、佐藤 一樹委員、武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、西澤 賢委員、
新田 隆史委員、瀨 章義委員、林 賢司委員、藤森 すず子委員、御子柴 健朗委員、
横内 文雄委員

(※欠席者…有賀 利恵子委員、太田 深穂委員、中山 昇委員 計 3名)

(事務局)

市長	早出 一真
副市長	小口 道生
教育長	宮坂 享
企画政策部長	岡本 典幸
総務部長	藤澤 正
市民環境部長	城田 守
健康福祉部長	帯川 豊博
産業振興部長	木下 稔
建設水道部長	小口 浩史
教育部長	白上 淳
教育担当参事	両角 秀孝
議会事務局長	中村 良則
岡谷市民病院事務部長	名取 浩
企画課長	仲田 健二
企画課主幹	芳沢 幸祐
同主査	藤森 大悟
地域創生推進課長	小平 寛
地域創生推進課統括主幹	荻原 浩樹
同主査	矢澤 祐輔

第2回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和5年10月18日（水）
午後1時30分～午後3時00分
市役所 9階 大会議室

1 開会

○市民憲章唱和

2 市長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、岡谷市基本構想審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

この度、岡谷市長に就任いたしました早出一真です。

これまでの市政をしっかりと受け継ぎ、一步、二歩確実に前進させるとともに、第5次岡谷市総合計画に掲げる将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現を確かなものにするため、職員一丸となり、全力で取り組んでまいります。

さて、本年度は、「第5次岡谷市総合計画 前期基本計画」の最終年度であり、令和6年度からの5年間の後期基本計画を策定する年となります。

委員の皆様には大変ご負担をおかけしますが、豊富なご経験や優れたご見識に基づく、ご意見やご助言を賜りますようお願い申し上げます。

また、本審議会においては、岡谷市の市政運営の根幹計画であります総合計画の進捗管理に対し、多大なるご尽力をいただいていることに、深く感謝申し上げます。

本日の会議では、令和4年度の実績による重要業績評価指標(KPI)の進捗状況について、ご報告させていただいた後、現在進めております施策や事業の効果をさらに高めるため、委員の皆様と意見交換を行ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

3 会長あいさつ

皆さんこんにちは。大変お忙しい中、本審議会にご出席を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によりますこの3年あまりの空白により、各事業の実施には大変な負担を強いられているところだと思います。地域の振興をしようにも、3年あまり実施できていないため、最初からまたやり直さなければいけない状況にもなっているところがございます。

そんな中、早出新市長が誕生いたしました。本当におめでとうございます。

審議会も岡谷市のより一層の発展、振興のために、職責を果たしてまいりたいと思いますので、皆さんよろしくご協力をお願いします。

5 会議事項

副会長（司会）	<p>それでは、これより次第4の会議事項に入ります。</p> <p>「岡谷市総合計画の策定に関する条例施行規則 第8条」では「審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」と規定されておりますので、ここからの進行は会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事を進行させていただきます。</p> <p>会議事項(1)第5次岡谷市総合計画 令和4年度進捗状況について、事務局より説明をお願いしますが、基本目標ごとに区切っていただいて、委員の皆さんからご質問・ご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1)第5次岡谷市総合計画 令和4年度進捗状況について 資料：第5次岡谷市総合計画～令和4年度進捗状況について～ 資料：【令和4年度進捗状況】第5次岡谷市総合計画 前期基本計画成果指標（KPI）</p> <p>●基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまち (資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>令和4年度進捗状況の中で示されている岡谷市が独自で行ったアンケート調査（満足度等）のアンケート依頼数（母数）と回答率をご教示ください。</p>
帯川健康福祉部長	<p>施策1-1 子ども・子育て支援の推進におけるKPI「今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合」については、3～4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診時に行うアンケート調査の結果を利用しております。</p> <p>直近の令和4年度の実績といたしましては、依頼数は843です。</p> <p>なお、回答率は健診の問診項目となっているため、すべての方にご回答いただき、100%となっております。</p>
岡本企画政策部長	<p>施策3-2 地域医療体制の推進におけるKPI「医療体制の充実に満足している人の割合」については、2年に1度実施しております岡谷市民アンケートの結果を利用しております。</p> <p>直近の令和4年度の実績といたしましては、依頼数は1,200、回答数が520で回答率は43.3%となっております。</p> <p>なお、このあとの他の基本目標である、施策6-1 スポーツの振興、施策12-1 居住環境の充実、施策13-1 計画的土地利用の推進につきましても、同様に岡谷市民アンケートの結果を利用しております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>施策1-1 子ども・子育て支援の推進における待機児童数0人を維持について、達成してはいるが、それは子どもの数が少なくなったことも考</p>

	<p>えられます。</p> <p>核家族が多くなってきており、お年寄りとの関わりが少なくなってきた今、保育園のおじいちゃん先生の存在も大事であると思います。現在のおじいちゃん先生は無償ボランティアで中々なり手がないうであります。</p> <p>これからの子育てにはとても大事なことと思うので、できれば各保育園に有償にて1～2人いるようになればと思います。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>本事業は、“輝く子ども”サポート事業（おじいちゃん先生）として、知識や経験豊かな高齢者のボランティアサポーターを保育園に配置し、子どもの情操教育の推進と子どもとその保護者との世代間の交流を図るとともに保育園運営への参画につなげることを目的としています。</p> <p>令和5年9月現在、7園の保育園に8名の方が登録いただいております。</p> <p>ボランティアの方々には、ご自身のライフスタイルに合わせて、無理のないように来園いただき、掃除、簡単な剪定、園児と一緒に遊ぶなどの交流をいただいております。有償とした場合、園の業務に拘束されてしまい、負担感や義務感により、活動の妨げになることも想定されます。</p> <p>現在は有償ボランティアの検討には至っておりませんが、高齢者と交流することは、作法、知識教育、情操教育など貴重な体験や話が聞けるほか、高齢者にとっても生きがいを感じることができ、お互いにメリットがあり、大切にしたいと考えております。</p> <p>高齢者や地域の方々と園の活動において、カレー会や焼き芋会などの機会を捉えて、一緒に収穫や食事をする事、また運動会などにおいて交流を図っております。</p> <p>また、通常保育が終わった後の、長時間保育では、携わる職員も年配の方が多く、世代間の触れ合いにもなっております。</p> <p>今後におきましても、様々な機会を捉え、園に携わっていただけるボランティアの方々を募ってまいりたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>今、無償ボランティアの方がおじいちゃん先生たちは気楽じゃないかという話が出ましたけれども、逆に有償にした方が子どもたちに対してやる気が出るということも考えられます。</p> <p>ただ漠然と無償で長時間、ボランティアをやっていますので、私はぜひ有償で子どもたちの育成に努めていただくようにしていただければ嬉しいです。</p> <p>長時間保育とかそういうことに関しては、お手伝いに来てくれる先生たちも、みんな手当がつきます。変な意味にとって欲しくないですが、おじいちゃん先生も駆り出されるという部分もあります。若干でも有償にしていればおじいちゃん先生たちも喜んで、もっと一生懸命頑張ろうという気持ちも出てくるので、ぜひその辺お考えいただきたいと思います。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>ありがとうございます。参考にさせていただいて、今後検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>施策1-1「この地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合」、施策2-1「避難行動要支援者個別計画登録申請率」など、目標値100%というものに関しては、目標値がそもそも無理な設定と感じます。</p>

<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>「この地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合」につきましては、これまでの実績といたしまして、95%前後で推移していることから、目標値を100%に設定しております。</p> <p>この地域で子育てしていきたいと思う方が100%となるよう目標達成に向け、今後も子育て支援の施策展開を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、避難行動要支援者個別計画の登録申請率についても目標値を100%として掲げております。</p> <p>この目標は、国により「誰一人取り残さない防災」の実現を目指し、様々な取組が進められる中、岡谷市としても、自力での避難が困難な方々を災害時に誰一人取り残さない防災を目指すことが重要と考え、100%に設定したものであります。</p> <p>ご指摘のように目標には届いていない状況ではありますが、要因としましては、要支援者側から「家族がいるから支援は必要ない」、「自分の状況を他人に知られたくない」などの理由で申請に至っていない状況もあります。また、若い年齢層で申請率が低い傾向がみられることから、自力での避難が可能である方も一定数いるものと推測しております。</p> <p>このような状況を踏まえ、100%には至っていない難しい状況ではありますが、市の姿勢として目標が70%、80%でいいのかということもありますので、目標は100%としてしっかり取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>100%であるべきだという考えについて理解しました。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>施策2-1 地域福祉の推進における避難行動要支援者個別計画登録申請率について、100%の目標でありながら、年々低下しております。分母の変動があったとしても目標値との乖離が大きい状況です。目標達成に向けての施策はあるのでしょうか。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>成果指標（KPI）では、避難行動要支援者個別計画の登録申請率100%を掲げており、先ほど申し上げたところではありますが、国により「誰一人取り残さない防災」の実現を目指し、様々な取組が進められる中、岡谷市といたしましても、自力での避難が困難な方々を災害時に誰一人取り残さない防災を目指すということで100%に設定しています。</p> <p>目標には届いていない状況であり、死亡、市外への転居、施設への入所などによる減少が、新規登録を上回り、申請率は減少傾向となっております。</p> <p>なお、申請をされないケースとしまして、要支援者側から「家族がいるから支援は必要ない」、「自分の状況を他人に知られたくない」などの理由が多く、減少傾向になってしまっている状況であります。</p> <p>市では、未登録者への勧奨、各区への防災ガイド説明会や防災研修会での説明、民生委員による個別訪問、市報への掲載等により、制度の周知を図っております。今後も区や民生委員と連携するとともに、申請状況を分析しながら、的確な勧奨・周知に努め、避難行動要支援者避難支援制度について市民の理解を深めてまいりたいと考えております。</p>

<p>委員</p>	<p>今いただいた回答は、ほぼそのとおりだと思います。ただ、実際問題、その避難行動が災害時に起こった場合というようなことを考えますと、市で言うその施策の問題、もう一步踏み込んだことを何かやっていないと、本当に右下がりの状況になってしまいます。</p> <p>今言われたように、ご逝去されますから、毎月毎月分母が減っております。そうかといって障害者ばかりでなく、民生委員で拾っているご高齢の方、例えば75歳以上で住まれている家庭があります。そういうような部分に施策の中で、もう一步踏み込んで、何かできることがもう少しあるのではないかということを私も民生委員をやっていると感じました。</p> <p>また、実際に災害があった時のことを考えてみましたが、やはり連携というような形で、各区、民生委員、社協といったところがもう一段横の連絡で、もう一步進むことができないかというようなことを感じております。</p> <p>したがって、今の状況は説明いただいたとおりだと思いますが、実際にこれからもう少し進むには、何かこうみんなで考えるべき部分があるのではないかというようなことでのご提案でございます。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>今、委員さんが言われたように、これまでコロナでできなかったが、地域サポートセンターの中で、地区社協や民生委員と関わっていただいている部分がありまして、そこを情報共有する地域ネットワーク会議を今年開催しました。その中で、グループに分かれて各地域の課題なども検証したところ、やはり皆さん災害についてすごく心配されている部分があり、いろんな取組をされているケースを情報共有していただきました。21区全てでどのような取組をしているのかということを出し合って意見交換し、その中から自分の地区の課題も検証していただきました。</p> <p>今年度、そのような取組で少し前に進んでいると感じております。</p> <p>私たちもそこに参加させていただいて、課題なども聞かせていただいておりますので、ぜひ100%を目指すような今後の施策展開としてどういったものができるかということと一緒に検討していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>施策2-2「要介護認定率」では、65歳以上人口に対する割合となっておりますが、65才以上は毎年増加し平均年齢が高くなるとすると、要介護者も自然と増加すると思われまます。算出方法に、年代別とか、平均年齢換算などの考慮があってもいいかと思ひます。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>要介護認定における年代別、平均年齢換算につきましては、年齢別のデータ抽出は行っていないというのが現状であります。</p> <p>年齢という視点で捉えると、65歳以上の第1号被保険者のうち、65歳から74歳までの前期高齢者と75歳以上の後期高齢者に区分して分析は行っております。</p> <p>ここ数年、第1号被保険者数は減少傾向に転じており、認定者数は僅かずつ増加している状況です。</p> <p>平均寿命が延び、介護も長期化することで、要介護者も増加するという傾向であり、年齢が高くなるほど介護サービスが必要になってきております。</p> <p>本計画において、高齢者福祉の推進を掲げる中で、事業効果の指標として「要介護認定率」を用いていますが、介護認定では、寝たきりや認知症</p>

	<p>等で常時介護を必要とする「要介護状態」と、家事や身支度等の日常生活に支援を必要とする「要支援状態」に区分されており、介護の必要度合いに応じた介護サービスの提供を受けるために申請と認定が必要になり、それぞれに区分されています。</p> <p>要介護認定率における介護度別の分析は大変重要な資料と考えており、今後につきましては、そういった視点からどのように反映していくかを研究し、施策の展開につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>また、健康長寿に向けての必要な取組のカギを握るのはフレイル予防と考える中で、要支援1・2もしくは非該当者を対象とする介護予防サービスを併用しながら、引き続き介護予防に資する事業を展開するとともに、介護度を細分化した分析等を行いながら、目標値に繋げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>ご丁寧なご回答ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、二つでもいいですけれども年代区分して、検討を続けていただきたいと思います。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
副会長	<p>施策3-1 健康づくりの推進における成果指標の健康寿命について、算定方法や具体的にどのような方までを健康寿命として捉えるのか教えていただきたい。</p>
帯川健康福祉部長	<p>厚生労働省が示した「健康寿命の算定方法の指針」において、次の3つの算定方法が示されています。</p> <p>一つ目が「日常生活に制限のない期間の平均」ということで、国民生活基礎調査のデータを活用するもので、「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」という設問の回答から算定しております。</p> <p>二つ目として、「自分が健康であると自覚している期間の平均」ということで、こちらも国民生活基礎調査のデータを活用するもので、「あなたの健康の状態はいかがですか」という設問の回答から算定しております。</p> <p>三つ目として、「日常生活動作が自立している期間の平均」ということで、これが介護保険の要介護のデータを活用するもので、介護保険の要介護度の測定を用いて算定しております。</p> <p>市町村が算定する場合は、特別な調査をせず、全国の市町村で算定できる三つ目の介護保険の要介護度で測定したものとなっておりますので、その手法を用いて今回のK P Iの指標としている状況であります。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。私自身、保健委員として活動させていただいて、学習をしたり、皆さんと話し合いをしたり、生活しているわけですが、健康寿命をスマホやパソコンで調べますと、日常的継続的な医療・介護に依存しないで自分の心身で生命を維持し、自立した生活ができる生存期間のこととあります。</p> <p>お示しいただいたK P Iの数字は要介護の方も入っているという状況で、市町村としてはその方法で算定していると回答をいただきましたが、私は母を看取ったりする中で、要介護の状態というのは、杖を使わなきゃいけない、それからトイレも補助がいる、入浴も1人でできない、そんな状況の方を健康と言えるのでしょうか。</p> <p>家族の方も大変苦労していますし、本人も大変ですけれども、そういう方たちも入れて、85.7歳というのは、ちょっと私としては疑問に思っ</p>

	<p>てしまいますが皆さんいかがですか。</p> <p>全国の平均寿命は、男性が81.47歳、女性が87.57歳と言われており、健康寿命に関しては男性が72.68歳、女性が75.38歳という資料がありました。</p> <p>男性は8歳、女性は12歳の差があるということですがけれども、この岡谷市の成果指標を見ると、その差がすごく短縮されていてすごく良いように、私どもとしては解釈をしてしまうのですがけれども、岡谷市民総体として見て、どうかなという疑問がすごくわいてしまい、このような質問をさせていただきます。</p> <p>皆さんも近所の方とか色々な状況を見て、こういった介護、要介護の方も健康寿命の中に入れていいかということ、少し考えながら見ていただけたらと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>●基本目標：未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち (資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>令和4年度進捗状況の中で示されている岡谷市が独自で行ったアンケート調査(満足度等)のアンケート依頼数(母数)と回答率をご教示ください。</p>
白上教育部長	<p>施策4-1 学校教育の推進におけるKPI「小学校・中学校の学校満足度」については、長野県が全児童生徒を対象に毎年実施している学校経営概要の調査に基づくアンケートの結果を利用しておりますので、依頼数は全児童生徒数となります。</p> <p>令和4年度の実績として、小学校においては、依頼数が2,077、回答率は96.4%。中学校においては、依頼数が1,198、回答率は89.4%となっております。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの感染リスクのある中で、令和4年も高い回答率で、比較的目標値に近い数値を出されており、確かに①Bではありますが、素晴らしい結果なのかなと思います。</p> <p>その前に、「基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」のところでも回答依頼数や回答率をお聞きしましたが、当然その満足度等については、「どちらとも言えない」という回答があるかと思いますが。その「どちらとも言えない」という部分を、どのくらい満足の方に向けるかというのが施策の目的ではないかと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>小中学校内は草だらけで、このような環境の中で育った子どもたちの将来が心配であります。</p>

両角教育担当参事	<p>小中学校の敷地に繁茂する雑草につきましては、各学校に管理をお願いしております。教育委員会からは折に触れて、環境美化に努めてくださいというような促し、周知等を行っているところであります。</p> <p>各校におきましては、例えば、校庭の場合は運動会等の行事に合わせて、教職員や児童生徒による共同の草取り作業、石拾いの作業といった取組ですとか、PTAや地域のボランティアの皆さんの協力による作業等も行っていただいております。</p> <p>また、各校には1人ずつ学校業務員を配置しており、日々の管理の中での草刈作業等も行ってありますが、何分、広大な面積を有する学校におきまして、雑草等はすぐに繁茂してしまいますので、対応が追いつかないという実情も承知をしているところであります。</p> <p>しかしながらご指摘のとおり、雑草に囲まれた校地環境というのは、市教育委員会としまして、あるべき学校の姿ではないと考えておりますので、各校に学校の環境美化の推進、適切な校地の管理を改めて伝達させていただいたところであります。</p>
委員	<p>実際、学校に行くときすごい草です。その中で、子どもたちが「生活環境を整えよう」、「ごみをきちんと拾おう」という教養は多分無理ではないかと思うくらい草がすごいです。</p> <p>業務員さんがいらっしゃると言いましたけれども、業務員さんが1日かけてずっと刈って、また刈れば、また次刈っていかねばならないというような状況で草は伸びてきますので、ぜひその辺少し考慮していただければと思います。</p> <p>学校の敷地内だけでなく、通学路もいろいろありますけれども、せめて学校内は少し草がなくなるような環境にさせていただければ嬉しいかと思います。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>●基本目標：人が集い、にぎわいと活力あふれるまち (資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>施策7-1 工業の振興における【主な取組①】商工業振興条例に基づく助成金による支援に、企業の市内工場用地の取得費の一部や工場等の固定資産税相当額を助成とあるが、金額、助成率、対象企業について教えていただきたい。</p>
木下産業振興部長	<p>まず金額と助成率についてであります。取得していただいた土地に対しては、取得価格の30%、限度額1億円という形で助成をさせていただいております。また、助成金は1億円を一括という形ではなく、単年度1,000万円を上限として、1億円の場合は10年かけて支援をさせていただいております。</p> <p>次に、新築・増築をしていただいた工場等の建物に対しましては、3年間納めていただく固定資産税の相当額を100%応援させていただいて</p>

	<p>おります。</p> <p>対象企業であります、自ら生産を行う工場、もしくは研究所等の新設、増設をする企業を対象としております。</p> <p>また、これらの助成金を受けていただくための要件を設定させていただいております。</p> <p>土地につきましては、「300㎡以上の土地の取得であること」、「工場等の面積について、取得していただいた土地の30%以上の建築をしていただくこと」で、建物の要件としては、「工場の建設を市内の業者に発注していただいていること」、「工場の面積が300㎡以上になること」を要件としております。</p> <p>なお、共通の要件としまして、「新規に岡谷市民の常用雇用者1名を1年以上雇用していただくこと」、「新設工場が1年以上の操業を確認したこと」を条件に、助成金の交付をさせていただいております。</p>
委員	<p>質問の意図としては、新たな企業の誘致という一方、既存の企業もこういった助成金を使えるのかということ、また使っているのかということをお聞きしたかったわけです。</p> <p>どうしても誘致の方に目が行きがちですけれども、ものづくりのまちとしての歴史がありますので、既存の企業にも助成金が行くような施策にしていきたいと思った中で、お答えいただいた内容は、特にそういった誘致企業に限るものではなく、土地の取得や新築・増築に対するものであるということをお聞きし、理解しました。どうもありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>●基本目標：安全・安心で、自然環境と共生するまち (資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>●基本目標：快適な生活を支え、住み続けたいまち (資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次をお願いします。</p>
事務局	<p>●基本目標：みんなでつくる、確かな未来を拓くまち ●進捗状況の総括 ●岡谷市の人口について</p>

	(資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	財政の関係で、基金と市債の残高の差ですけれども、現在の岡谷市の状況としては大ざっぱに言うと、令和4年の段階で、数字から見て予定よりも少し余裕ができたというような解釈をされているのでしょうか。
藤澤総務部長	資料を見ていただいたとおり、平成29年度は12億円だった基金が、今32億円まで積むことができたということでもあります。 この主な理由については、まずは国の経済対策等によって、国税また市税等の増収がかなりあったということでもあります。確かにコロナがありましたけれども、岡谷市は製造業等が多い関係で、それほど市税が減少しなかったというようなこともあります。そういった中で、基金を多く積むことができたということでもあります。 結果的に申しますと、若干でありますけれども、財政的には少し良くなってきているという認識を持っているところであります。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	KPIについて、①Bを除けばあまり目標達成していないように感じました。54項目中、①Aの割合は25%程度かと思います。①Bを含めた達成状況では楽観的ではないかと感じます。 また、参加者や利用者数などのKPIがありますが、コロナの影響により大幅な減があると思われま。これらは達成状況の分母に入れず、「③統計上実績値の把握が不可能なもの等」としてもいいのではないかと思います。 ただ、コロナの影響がほとんどない令和元年度も平成29年度より少なくなっている点が気になります。
岡本企画政策部長	KPIの評価につきましては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI検証チーム」の検証方法に基づきまして、分類、また評価しておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。
委員	目標達成に向けてというところが気になっておりまして、①Bはほとんど増えておりますけれども、達成する見込みがほとんどないものが多いです。その辺りが少し気になり、質問をさせていただきました。 参加者とか利用者数に関して、コロナの影響があったのは間違いないですけれども、例外もありますが、大抵のものが平成29年度より令和元年度の方が低いものが多いです。ということは、コロナがなくても増えてないのではないかと感じました。 また、懸念点としては、これから後期の目標値を立てるときに、どこを基準にするのかということも気になりました。令和3年、4年度を基準にした場合、コロナが影響するので、放っておいても増えるのではないかと思います。それで効果をどうやって検証していくのかということも気にして質問させていただきました。
岡本企画政策部長	評価につきましては、国の方法に基づいておりますのでご理解をいただきたいと思ひます。 また①Bのうち、達成が難しいと思われるものにつきましては、何とか

<p>会長</p>	<p>目標達成に向け、本年度しっかり取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>後期の目標値の設定につきまして、基準値については現段階では令和4年度もしくは5年度を基準という形で設定をしていくという形ではありますけれども、成果が見られるようなKPIを設定してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>そのほかに質問等ありましたらお願ひします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>では次に移ります。</p> <p>会議事項(2)デジタル田園都市国家構想交付金充当事業の執行状況について、事務局より説明をお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2)デジタル田園都市国家構想交付金充当事業(地方創生推進タイプ)の執行状況について</p> <p>資料: デジタル田園都市国家構想交付金充当事業(地方創生推進タイプ)の執行状況について</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、質問・ご意見がありましたらお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>岡谷シルクですけれども、これはゆくゆく目指すところは、例えば、今治タオルみたいなところを目指して取組を進めているのでしょうか。</p>
<p>小平地域創生推進課長</p>	<p>シルクは岡谷ブランドとして取組を進めているものであります。岡谷の代表的なものとして成長させていかなければならないと思ひしておりますし、オール岡谷産シルクということで、岡谷で桑を育て、それを餌にして蚕を育て、そこから糸を取って、オール岡谷産シルクの製品開発というものに取り組んで、ブランド化を進めていきたいと思ひしております。</p>
<p>委員</p>	<p>シルクを使って、今色々開発をされておりますけれども、少し漠然としているというか、今治タオルみたいなものだと具体的で、しかも需要もあってということで、爆発的に人気がありますけれども、岡谷シルクという、シルクという素材の話なので、何でも使えますというのをブランド化していくという、なかなか需要に結びつかないのかではないかと思ひしたので、質問させていただきました。</p> <p>目指すところが、何か具体的なものに結びつけば、岡谷シルクのブランドが一気に爆発する可能性もあると思ひました。</p>
<p>会長</p>	<p>今のご意見、ぜひいきるようにご検討をお願ひします。</p> <p>そのほかに質問等ありましたらお願ひします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>以上で本日の会議事項は終了になります。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>

副会長（司会）	<p>会長ありがとうございました。 それでは、全体を通して委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>（発言なし）</p> <p>そのほか、事務局から連絡事項等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>第3回以降の本審議会のご出欠の報告について、10月25日（水）までに、FAXまたはメール等でご報告をお願いいたします。</p> <p>なお、本日、第3回の開催通知を机上に配付させていただいております。以降の開催通知につきましても、都度お送りさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>第3回本審議会において、第5次岡谷市総合計画 後期基本計画（案）を諮問させていただき予定となっております。当日は、諮問後すぐに審議に入る予定であります。</p> <p>委員の皆様には1週間ほど前には計画（案）をお送りさせていただき予定でありますので、当日の審議箇所につきまして、事前にお目通しいただきますようお願い申し上げます。</p>
副会長（司会）	<p>ありがとうございました。 それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。</p>
副会長	<p>それでは以上をもちまして、令和5年度第2回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、大変お疲れ様でした。</p>